

実質化された人・農地プラン（上中妻地区）

市町村名	対象地区(集落)名	作成年月	直近の更新年月日
水戸市	上中妻 (上中妻, 山根, 河和田, 双葉台, 石川)	平成24年 8月	令和5年5月1日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積(ha)	931.8
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者または耕作者の耕作面積の合計(ha)	560.1
※ 回答率(②/①)	60.1%
③ ①のうち地区内における75歳以上の農業者の耕作面積の合計(ha)	247.2
i ②のうち後継者のいない農業者の耕作面積の合計(ha)	49.0
ii ②のうち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計(ha)	31.4
⑤小計(i + ii)	80.4
④ ②のうち地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計(ha)	117.8
⑥地区内で後継者がいないか不明の推計面積(ha)(⑤/回答率)	133.8
⑦中心経営体による, 地区内の後継者がいないか不明の推計面積カバー率(④/⑥)	88.1%

2 対象地区の課題

上中妻（プランの全域）については，5年後には担い手が不足すると推測される。

上中妻地区（集落）においては，担い手への集積・集約に向け，耕作条件の改善を図る必要がある。
山根地区において，農業従事者の高齢化や後継者不足により，将来的には地域営農の維持が困難になると見込まれるエリアについては，地域住民及び関係機関等を交えた話し合いにより，必要な取組を整理する必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区（集落）名	桜川
原則として中心経営体である認定農業者が中心となった農地利用を図り、必要に応じて入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進する。	

地区（集落）名	上中妻
原則として中心経営体である認定農業者及び集落営農組織が担い手となって今後の農地利用を図り、今後、進入路が狭あいである等の耕作条件の改善を図るため、土地改良区や農地所有者等による話合いの開催等を検討する。	

地区（集落）名	山根
中心経営体である認定農業者が中心となった農地利用を図り、必要に応じて入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進する。また、地区内の谷津地区については、農業者だけでなく自治会及び関係機関等を交えた話合いにより、必要な取組を整理するなど、将来の農業環境の維持に係る機運醸成を図る。	

地区（集落）名	双葉台
原則として中心経営体である認定農業者が中心となった農地利用を図る。	

地区（集落）名	石川
原則として中心経営体である認定農業者が中心となった農地利用を図る。	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

市、農業委員会の連携のもと、地域において話合いの中心となる農業者の状況などの把握に努め、土地改良事業実施地区、農業多面的機能の農地維持活動地区、農地中間管理事業モデル地区などのエリアを中心に、各地区の状況に応じ、農地所有者、耕作者、地域住民及び関係機関等による、農地の集積・集約に係る話合いの活性化を図る。	
市、農業委員会、中間管理機構等関係機関が連携し、貸し付け意向のある農地が中心経営体へ円滑に配分されるよう、貸し付け意向の情報共有等の体制整備を検討する。	